

アーキトレンドに配置する部品の作成

はじめに

本資料では、タカショーの「門まわりエバーアートボードプラン48」の3DS形式のデータを使って3Dカタログマスタへ登録する流れを記載しています。



[門まわり エバーアートボードプラン48 | パッケージプラン \(takasho.jp\)](https://takasho.jp)

はじめに、上記サイトから3DSデータをダウンロードします。

DOWNLOAD

このページのプランデータはこちらでダウンロードできます

パース画像一式 >	プレゼンシートPDF >	プラン3Dデータ >
画像データ一式がダウンロードできます。	プラン内容のプレゼンシートがダウンロードできます。	プランの3DS形式のデータがダウンロードできます。 ※ご利用のCADソフトによっては、ご使用いただけない場合がございます。

1 3Dカタログマスタに登録

アーキトレンドにて部品を取り込み配置するには、3Dカタログマスタもしくはアーキマスタへの登録が必要となります。

① 3Dカタログマスタを起動します。

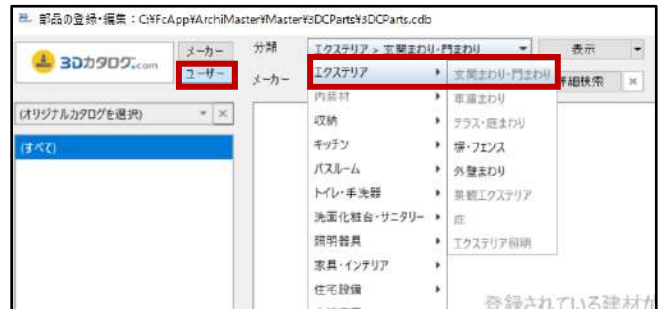


マスタの保存先を選択できます

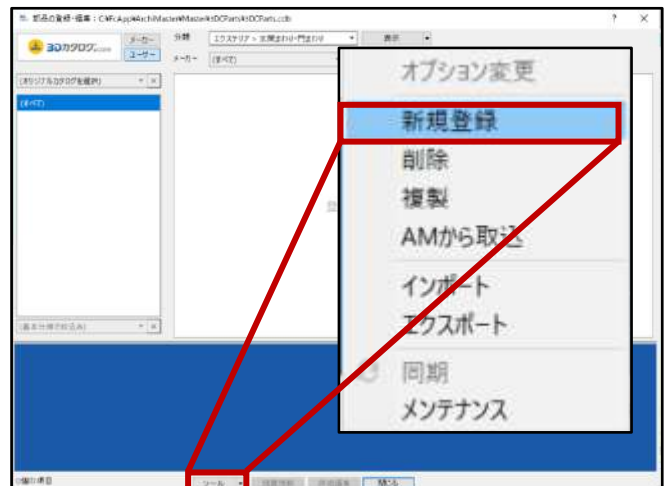
② 「住設・家具」を選択し、マスタを保存する任意のフォルダを選択。その後、「一覧編集」を実行します。



③ 一覧が開いたら、左上の「メーカー」から「ユーザー」に切り替え、作成する部品の分類を決めます。今回は「玄関まわり・門まわり」を登録するので、分類としては[エクステリア]-[玄関まわり・門まわり]が適しています。



④ 分類を決定後、下部の「ツール」より「新規登録」を実行します。



1 3Dカタログマスタに登録

⑤ 右図のような一覧が出てきます。
まずは赤枠の個所、製品・建材の詳細についての情報を埋めていきます。

部品新規登録

製品情報 | 配置情報 | コメント | 性能等級 | *は必須項目

メーカー * ユーザー登録 取扱期限

大分類 * エクステリア 更新フラグ 日付を比較して更新

中分 * 玄関まわり・門まわり ユーザー1

シリーズ ユーザー2

グループ ユーザー3

製品 * 門まわり

品名 * エバーアートボードプラン48

品番

価格 末尾文字

単位

色名称

サイズ 幅 1000.000 奥行き 1000.000 高さ 1000.000

● 簡易 ○ 詳細 □ カタログ ファイル選択...

立体 平面

立体データを設定してください。

平面データを設定してください。

編集 ...

バージョン: 0.0.0

OK キャンセル

⑥ 「編集」をクリックし、XVLデータを作成していきます。

次に出てくる画面の「編集」をクリックすると、FCStudioが立ち上がります。

立体・平面編集

立体

編集

削除

縮小画像取得

ファイル選択...

パラメXML選択...

平面

編集

削除

画像表示設定...

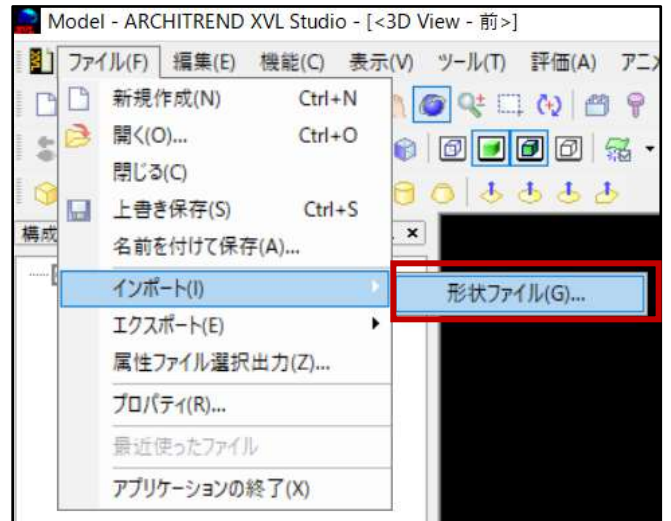
ファイル選択...

● 簡易 ○ 詳細

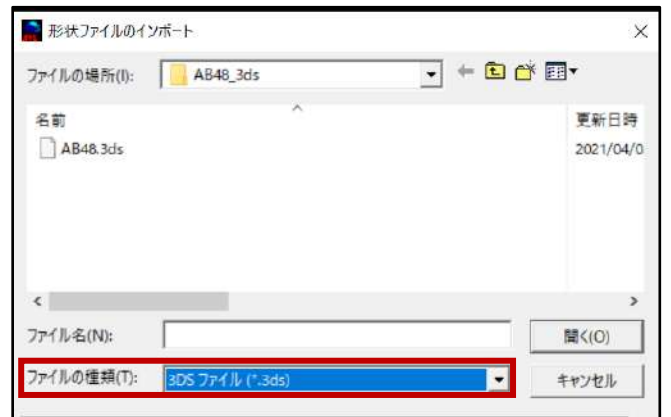
OK キャンセル

1 3Dカタログマスタに登録

⑦ 立ち上がったFCStudio上で、[ファイル] > [インポート]-[形状ファイル]より、3DSデータを読み込みます。



読み込むデータを選択する際、ファイルの種類が3DSファイルになっていることをご確認ください。



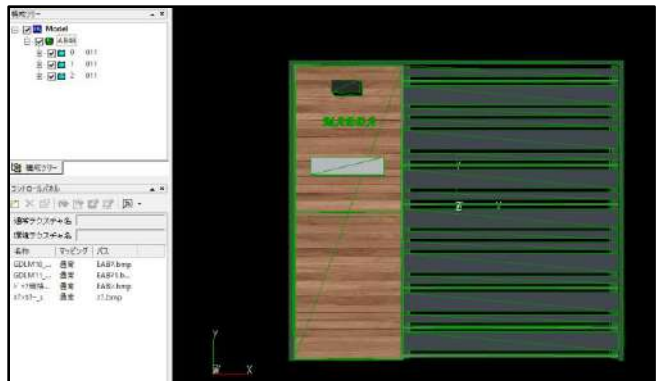
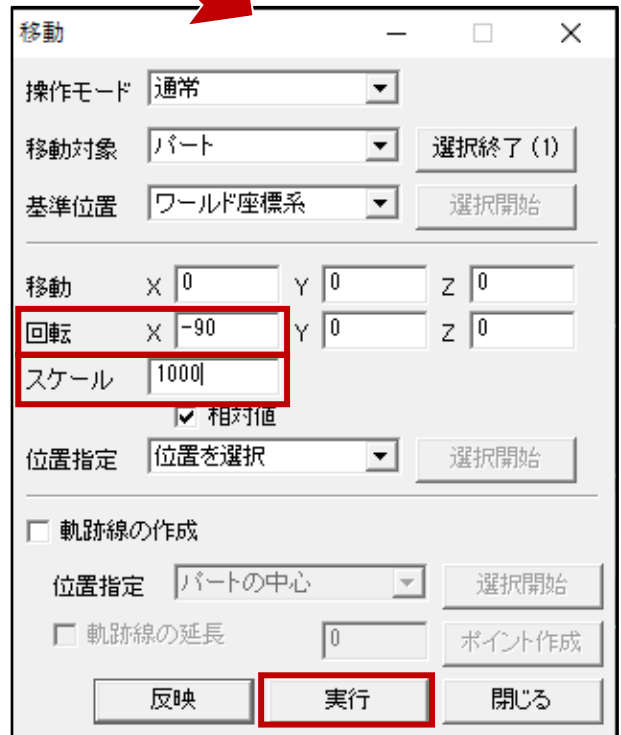
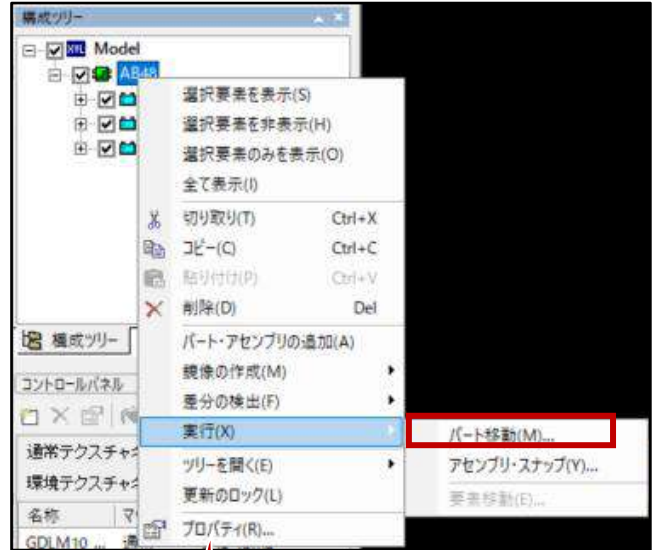
3DSデータを読み込むと、FCStudio上で右図のように表示されます。これは、X軸に90度回転されている状態ですので、立体を起こす必要があります。



1 3Dカタログマスタに登録

③ [実行]-[パート移動]で、回転X:-90に設定し、立体を起こします。

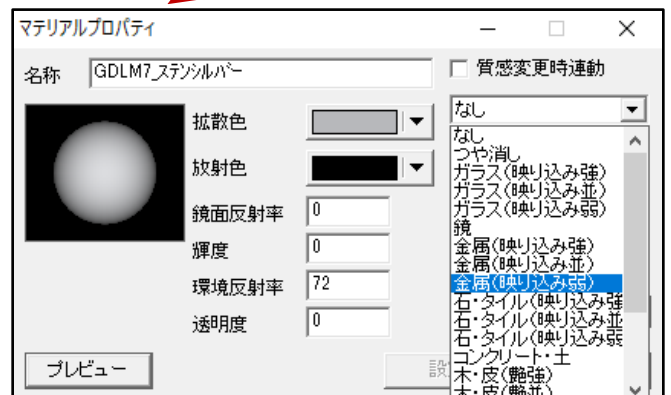
また、立体のサイズが実際のサイズの1/1000となっているので、スケールに1000と入力し、1000倍のサイズに変更します。



1 3Dカタログマスタに登録

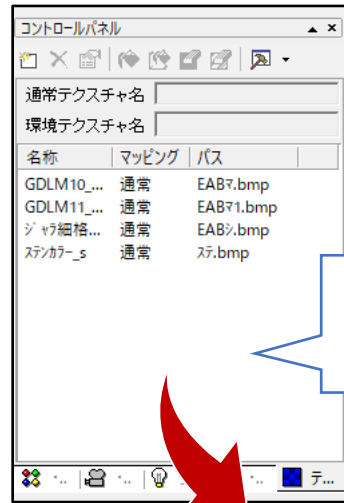
⑨すでに立体に割り当たっている材料に、質感を与えます。このことにより、CADに配置しレンダリングをかけたときにより現実的な見た目を表現することができます。

例えば、ステンシルバーのときは金属（映り込み弱）に設定します。

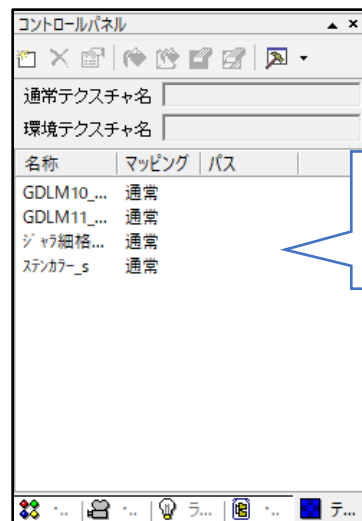
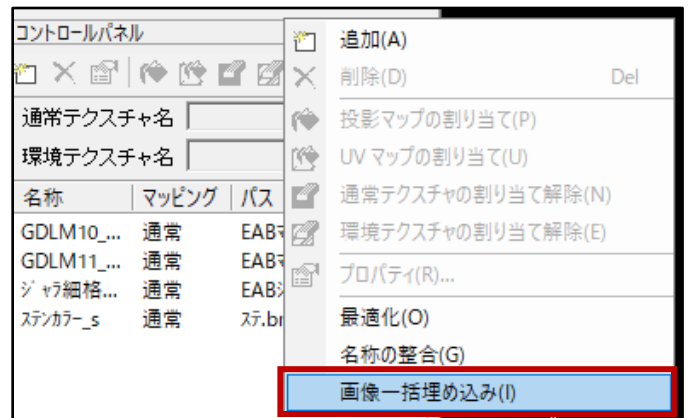


1 3Dカタログマスタに登録

⑩ データの保存先を変更してもテクスチャ画像を正しく参照させるために、画像一括埋め込みを行います。

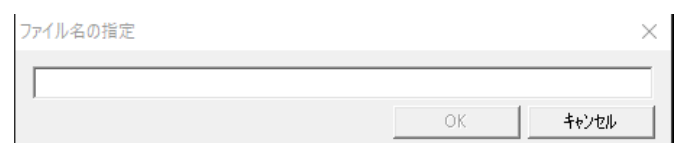


この辺を右クリックします。



パスを参照する必要がなくなりました。

⑪ 保存をすると、「ファイル名の指定」が出てきますので、任意のファイル名を指定します。



1 3Dカタログマスタに登録

⑫ 保存したのちFCStudioを閉じると、マスタの中にXVLが読み込まれます。

読み込んだだけでは部品サイズがデフォルトのままの数値なので、右図のように「数値変更」を行います。



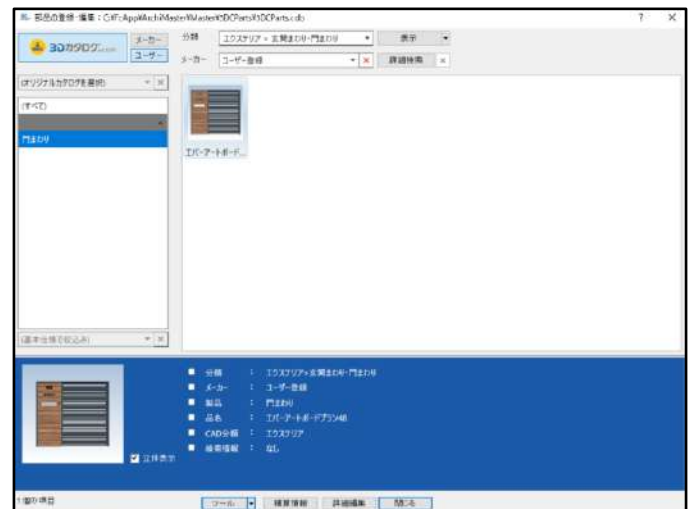
⑬ SVGを編集します。



1 3Dカタログマスタに登録

14 SVGまで登録が終わったら「OK」を押し、これでマスタへの部品の登録が完了となります。

アーキトレンドを開き、部品の選択から配置を行います。



2 アーキトレンドでレンダリングをかけた結果

